

食糧物資班（素案）

I 平常時

1. 班には備蓄庫管理担当と炊き出し担当を設け、震災時の物資の受け入れ、炊き出し及び配布方法について準備する。当避難所の地域の自主防災組織と連携し役割分担計画を作成する。

1) 物資管理

- ① 備蓄庫管理担当は総務班と協力して備蓄品在庫を確認する。
- ② 在庫管理（入出庫）カードを作成し、確認した在庫数を記入しそれぞれの備蓄品棚に添付する。
- ③ 災害時、補給物資の出納場所を下記とする。
 - a 備蓄庫 食料、飲料水、おむつ等消耗品を出納管理する。
シャベル、バール、メガフォン等用具を出納管理する。
リアカーは備蓄庫の備品とする。
 - b 体育館舞台 毛布の出納場所とする。
 - c 同上 外 簡易トイレは環境衛生班へ出庫する。
 - d 創作センター料理室 炊き出し用具の出納、設置場所とする。
 - e 同上 外 発電機の設置場所とする。（環境衛生班へ出庫）

2) 炊き出しと配布の手順

- ① 炊き出し担当は避難者数を把握し、炊き出し計画を作成する。
- ② アルファ米の給仕方法を定め、それに適した給仕機材を確保する。
- ③ 炊き出し担当の計画に従い備蓄庫担当は食糧、飲料水を出庫する。
- ④ 調理作業は創作センター料理室で行う。
- ⑤ 炊き出し食、給仕機材をリアカーにて体育館に運び配布する。

3) 炊き出し数量を想定し、設備、要員計画を作成する。

4) 班組織、人員

地域住民への物資の供給拠点としての機能を確保する観点から近隣自主防災組織との連携を図り、有事での支援を得る。

有事に際しては避難者、関係する自主防災組織を中心にボランティアを募り食糧物資班を再編成する。

2. 各家庭の食糧、飲料水などの備蓄に関し7日分の備蓄をするよう自主防災組織を通じて地域住民への啓発を行う。
3. 情報広報班の協力を得て地域居住人口の把握を行う。

4. 発災時に備えて炊き出し方法、発電機の操作方法など実践的訓練を自主防災組織と連携して行う。

Ⅱ 地震災害時

1. 避難者並びに関係自主防災組織を中心に食糧物資班を編成し、物資管理と炊き出し作業を分担する。
2. 班員にはマニュアルを熟知せしめる。
3. 班の構成
 - 1) 備蓄庫管理担当 3名
 - ① 物資の入出庫実績を在庫カードに記入し、現物確認し、在庫管理を行う。
 - ② 機材の貸し出し、返却、補充実績を在庫カードに記入し、現物確認し、在庫管理を行う。
 - ③ 食糧その他資機材の調達につき行政要員を支援する。
 - 2) 炊き出し担当 7名
 - ① 避難者数を把握する。
 - ② 炊き出し計画を作成する。
 - ③ 炊き出し用資機材を確保する。
 - ④ マニュアルに則り炊き出し作業を行う。
 - ⑤ 避難所の区画順に配布作業を行う。
 - ⑥ 配布場所は体育館入口とする。

以上

在庫管理票

品 名				
日付	入庫	出庫	在庫	備考(搬入元、出庫先)